

Cさんのケース

頻繁にハサミが無くなり困っていました。
無くなる度に、ハサミを購入していました。



探し物発見器の受信機 をハサミに取り付けてみた

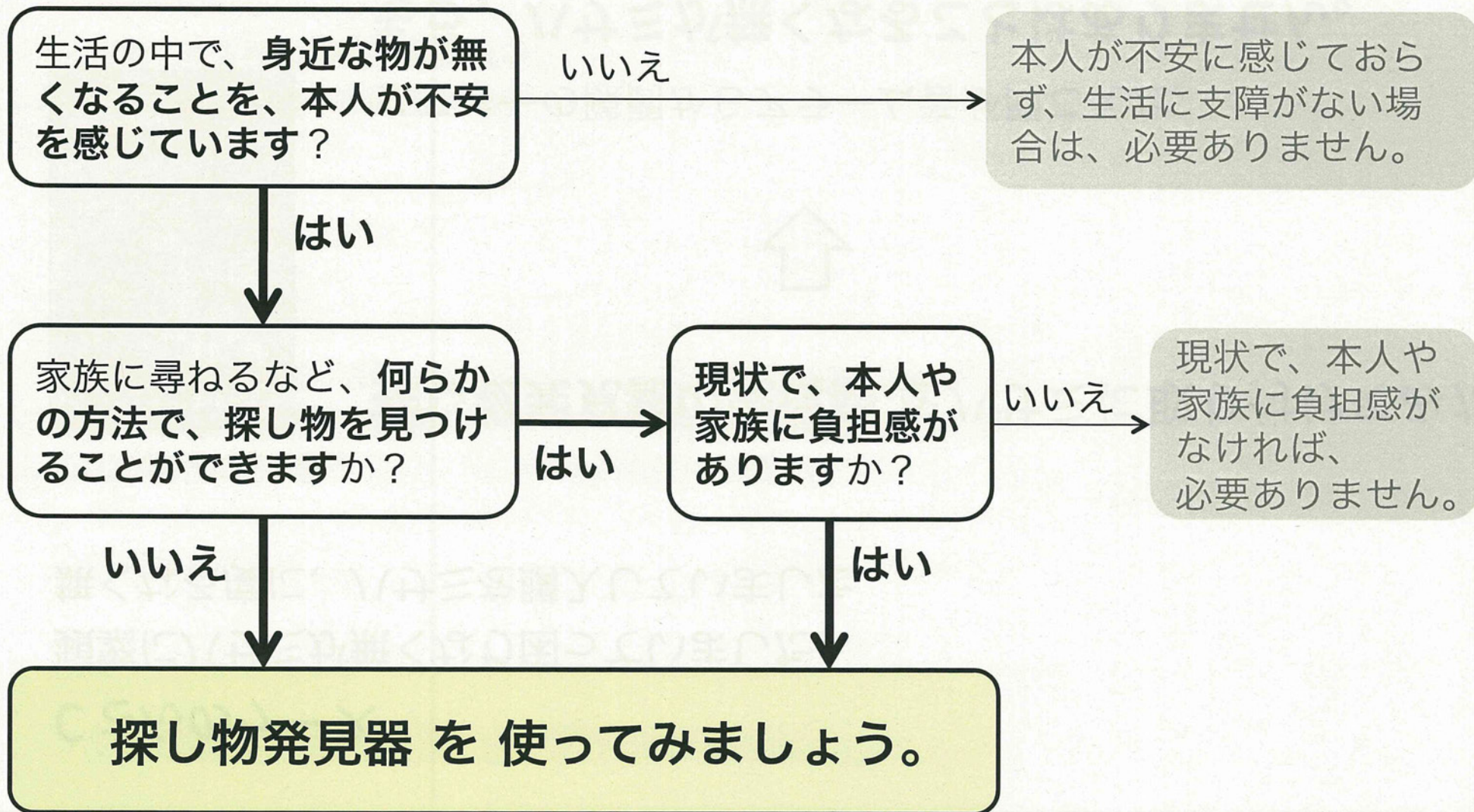


ソファの隙間からアラーム音が聞こえた。

**もう、ハサミが無くなることはありません。
新たに購入する必要もなくなりました。**

使い方 — 使い始める前に —

最初に、探し物発見器が必要か、考えてみましょう。



1. 探したい物に、受信機を取り付けてみましょう。

- 受信機の大きさに問題は有りませんか？
(日常生活の邪魔になりませんか)

2. 送信機のボタンを、試しに押してみましょう。

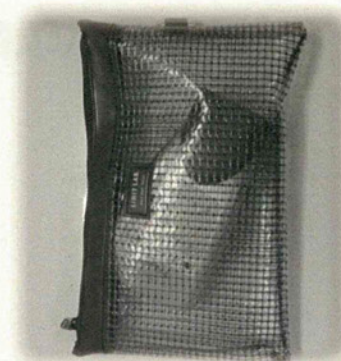
- 探したい物のボタンは どれかわかりますか？
(発信機には複数のボタンが付いています)
- 部屋の中の何処にいても アラーム音がハッキリ聞こえますか？

3. 探し物発見器で、探し物を見つけることができるか 確かめてみましょう。

1. **送信機の 保管方法を確認しましょう。**

(送信機が無くならないよう、袋に入れて管理する方法もあります)

2. **電池交換 を 定期的に行いましょう。**



3. **定期的に使用して 探し物発見器 に慣れましょう。**

(見つかることを 繰り返し体験することが、生活の安心につながります)

4. **本人のニーズや能力の変化に合わせ、探し物発見器の 使い方を、
時々見直しましょう。**

問い合わせ先

探し物発見器 および 本マニュアルについては、以下までお気軽にお問い合わせ下さい。

- 本マニュアルで紹介した **探し物発見器** は、国立障害者リハビリテーションセンター併設「**認知症のある人の福祉機器展示館**」でご覧いただけます。
- **探し物発見器** の詳細については、以下窓口にお問い合わせの上、「**認知症のある人の生活支援機器データベース**」もご参考下さい。
(http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/lifeSupport/top_ja.php)

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

電話：04-2995-3100（代表） E-mail：dementia@rehab.go.jp

©国立障害者リハビリテーションセンター2013 [非売品] 本マニュアルの内容を無断で複写複製することを禁じます

「電子カレンダー」を使ってみましょう ver.1

— 「今日の日付や予定がわかる」支援に向けて —

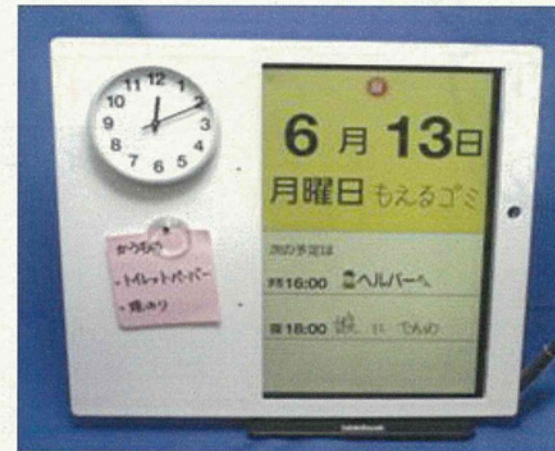


目次

はじめに

- ◇ 電子カレンダーとは？
- ◇ 代表的な電子カレンダー 4例
- ◇ 推奨機器の条件
- ◇ どんな人に適していますか？
- ◇ どのように役立ちますか？
- ◇ 使い方

問い合わせ先



はじめに

このマニュアルでは、電子カレンダー を活用した

「今日の日付や予定がわかる」支援 を紹介します。

認知症の初期から中期では、

日付・曜日・時間 や 1日の予定がわからなくなる など

生活に支障をきたす ことがあります。

そこで、認知症の人にも、日付・曜日・時間や予定などを、わかりやすく表示する 電子カレンダー が開発されています。



電子カレンダーとは？

日付・曜日・時間 や 予定などを

見やすく、わかりやすく表示する 機器

自動で更新し、確実に 表示する 機器

代表的な 電子カレンダー 4例

LED版

- ・ 日付、曜日 を表示
- ・ 大きい文字 見やすい
- ・ 赤く発光 見つけやすい



(日本語表示)

【販売：内山技術研究所】

アナログ時計付き

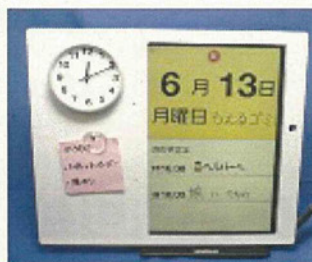
- ・ 日付、曜日 を表示
- ・ 高いコントラスト 見やすい
- ・ 大きい文字 見やすい
- ・ 日付けと時計が一体 見つけやすい



(英語表示／日本語表示ナシ)

タブレットPC版

- ・ 日付、曜日 と 予定 を表示
- ・ 予定件数が選べる
- ・ 適切な情報量
- ・ 画面が大きい 見つけやすい



(日本語表示アリ)

【製品版開発中：国立障害者リハビリテーションセンター】

時間帯表示機能付き

- ・ 日付、曜日 と 時間帯 を表示
 - ・ バックライト 見やすい
 - ・ 写真を添えられる 見つけやすい
- (季節感も伝えられる)



(日本語表示なし)

以下の条件を満たす 電子カレンダー の使用を推奨します

情報量が適切

- **情報量が多いと混乱しやすい**。温度や湿度表示は必要ない
(日付・曜日・時間 や 予定などを明確に表示)

見やすい表示

- 文字と背景の、**コントラストが高い** (ハッキリ見える)
- 文字が、**大きい／光る** など (遠くからでもよく見える)

見つけやすい

- 電子カレンダー そのものも、**目立つ／注意を引く**

どんな人に適していますか？

以下のような方には、

電子カレンダー が役立つ可能性があります。



○ 日付／曜日／予定がわからず

不安に思っている

家族や周囲の人に繰り返し聞く

今日何をすべきなのか、わからない
(デイサービスの予定が把握できないなど)

○ 昼と夜の区別ができないため

夜中に近所に出かけてしまう

深夜や早朝に家族に電話をかけてしまう

Aさんのケース

曜日がわからないので、
デイサービスが無い日にも、
通りで迎えを待つことができました。



電子カレンダーを使うようになって



いつでも曜日を確認出来るようになり、

デイサービスの日のみ、
迎えを待つことができるようになりました。



Bさんのケース

日付がわからないことが不安で、地域包括支援センターに電話で尋ねたり、買い物をしてレシートで日付を確かめたりしていました。

電子カレンダーを使うようになって



日付がいつでもわかるようになり、
安心して生活できるようになりました。





Cさんのケース

日付がわからないことが気になって、
1日に何度も、家族に「今日は何月何日？」
などと尋ねていました。

電子カレンダーを使うようになって



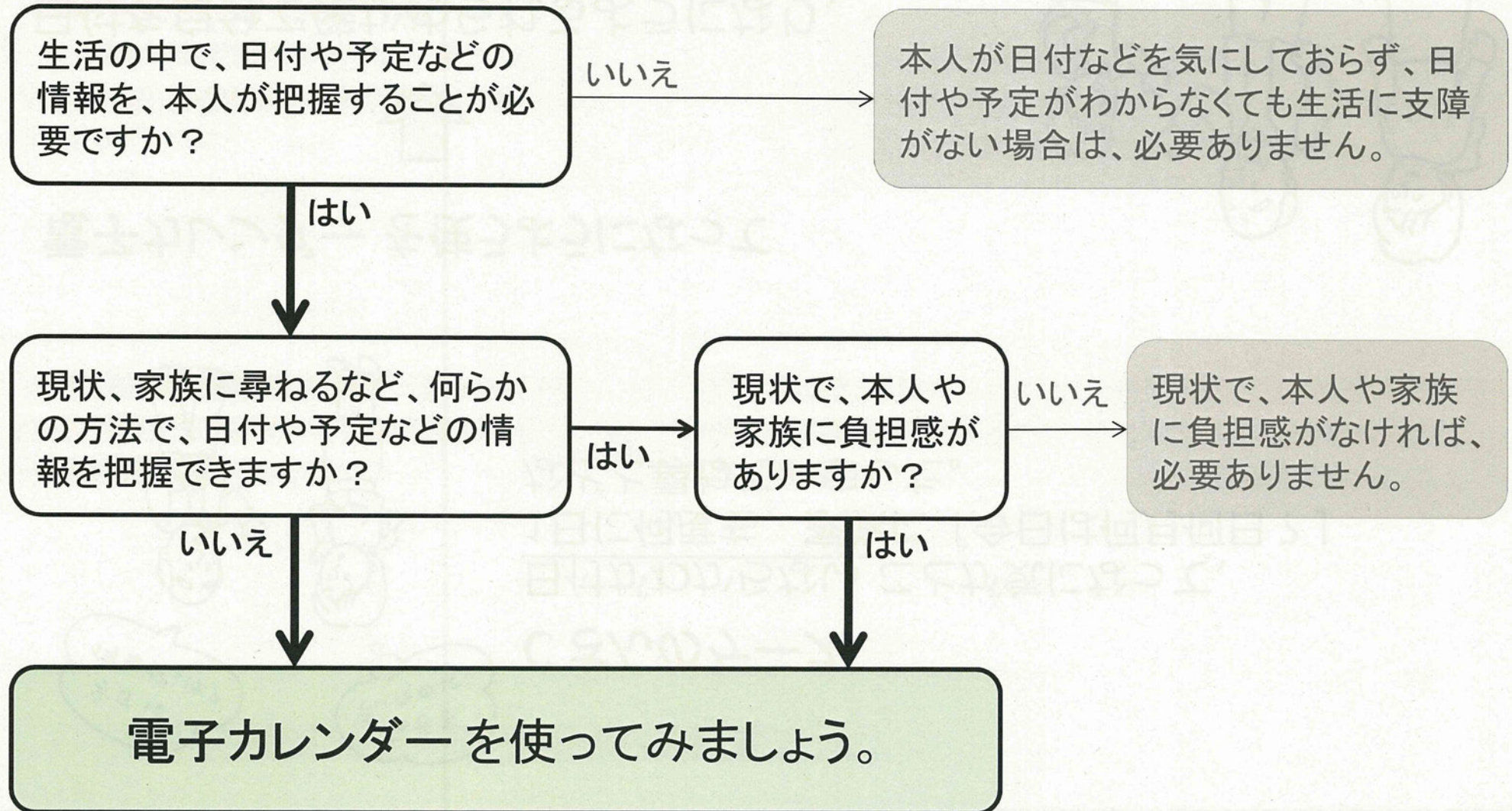
日付を自分で確かめられるようになり、

家族への 頻回な質問 が 無くなりました。



使い方 — 使い始める前に —

最初に、**電子カレンダー**が必要か、考えてみましょう



使い方 — 使い始め —

1. いつもいる場所から、気軽に、**見える位置に置きましょう。**
2. 電子カレンダーを読み取れ、**使用できるか確かめましょう。**
3. 「日付合わせ」「予定入力」など、**必要な設定をしましょう。**

1. 電子カレンダーに慣れるまで、**繰り返し、見ることを促しましょう。**
(情報を知りたいときに電子カレンダーを見る習慣を身につけましょう)
2. 電子カレンダーへの予定入力など、**継続的に必要な支援をしましょう。**
3. 本人のニーズや能力の変化に合わせ、**電子カレンダーの使い方を、時々見直しましょう。**



問い合わせ先

電子カレンダーおよび本マニュアルについては、以下までお気軽にお問い合わせ下さい。

- 本マニュアルで紹介した**電子カレンダー**は、国立障害者リハビリテーションセンター併設「**認知症のある人の福祉機器展示館**」でご覧いただけます。

- 電子カレンダーの詳細については、以下窓口にお問い合わせの上、

「**認知症のある人の生活支援機器データベース**」もご参考下さい。

(http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/lifeSupport/top_ja.php)

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

電話 : 04-2995-3100 E-mail : dementia@rehab.go.jp

©国立障害者リハビリテーションセンター2013 [非売品] 本マニュアルの内容を無断で複写複製することを禁じます



THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

5300 S. DICKINSON DRIVE

CHICAGO, ILLINOIS 60637

TEL: 773-936-3700

FAX: 773-936-3701

WWW.PHYSICS.UCHICAGO.EDU

PHYSICS 101

LECTURE 1